



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



「立法院の総意」(?)で、ジェンダー平等に真っ向から反する法律が衆院通過 「皇室典範改定案」は女性差別を固定化?

「静謐」乱して、採決強行

政府が提出した皇室典範改定案の採決が10日の衆院本会議で強行され、自民党と中道改革連合、日本維新の会、国民民主党、参政党などの賛成多数で可決しました。日本共産党などは反対しました。

日本共産党塩川議員が「立法院の総意」取りまめは総意ではないと批判

法案には、皇位継承全体会議参加の衆参13会派のうち5会派が反対し「立法院の総意」ではないと強調。政府は皇族数確保策といながら、養子の子の男子に皇位継承権を認める規定を盛り込んでおり「国会と国民を愚弄(ぐろう)するやり方だ」と批判しました。

女性を差別し否定する男尊女卑の古い考え

多様な性を持つ人々で構成される国民の「統合の象徴」である天皇を男性に限定する合理的理由はどこにもありません。

政府や自民党は「歴史と

伝統」と強調するが、現憲

法では旧憲法の「万世一系」

「神聖ニシテ侵スベカラズ」

という天皇主権は否定され

ました。「男系男子」固執の

姿勢は「家制度」で男子を

産むことを強制し、女性を

苦しめてきた日本社会の姿

と重なり、女性差別を助長

するものです。

塩川議員は、「旧宮家」は

戦後、自ら皇籍を離れた

人々で、養子を禁じる現皇

室典範を覆して養子にする

のは矛盾だと指摘。一般国

民として生まれ育った人々

を特別な身分の皇族にする

ことは憲法が禁じる「門地

による差別」に抵触すると

述べ、「旧宮家」の男系男子

の子孫を養子候補とする新

たな特別身分をつくるもの



発言する塩川鉄也議員
=10日、衆院議運委

だと批判しました。

女性・女系天皇の道開 ざす法案は撤回すべき

法案は、現天皇との共通の祖先が約600年前までさかのぼる「旧宮家」からの養子に生まれた男子が天皇になれる一方、現天皇の子の女性皇族やその子は天皇

になれない仕組みです。

塩川議員は、女性皇族は

天皇になる資格がないのに

皇室行事を担う皇族数確

保のためだけに皇室を離れ

られないと指摘。女性・女

系天皇の道を閉ざす法案は

撤回すべきだと要求しまし

た。

物価高対策で副市長と懇談

7月1日、長岡市から「ナフサ不足、資材不足、物価高騰対策何とかして」の要望に対する回答書を受け取り、懇談しました。渡辺副市長は「物価高騰対策への国の交付金はあまりにも少ない。市としては、中学生の給食費が上がらないよう対応したい」と。

くらしと平和を守って

襲で焼け残った旧日赤病院の玄関扉、模擬原爆パンプキンの模型、一晩で1480人余りの犠牲者を出した長岡空襲。常設展示された遺影が私たちに語り掛けてきます。

二度と戦争は起こしてはなら

ない。固く心に誓

いました。



7/1 渡辺副市長から回答書を受け取る

7月20日
14時~
ハイフ長岡

遠藤れい子とペンライトフェス

小池晃

参議院議員・党書記局長が講演

ご参加お待ちしております。